

## ③5 まちづくりの一翼を担い新たな価値を創造する 露橋水処理センター改築事業

授賞機関 名古屋市 上下水道局

**キーワード** 全面地下化、処理水の多目的利用、都市景観の創出

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

水処理センターの汚水処理施設の全面地下化や高度処理水の多目的利用を行った事業。下水道分野の重要な取組である「リノベーション」の先進的な事例である点や、まちづくりにおける地域の方々との合意の努力についても、今後の下水道の価値を高める上で、注目に値する点が評価された。

### 1. はじめに

名古屋市の中心部に位置し、中川運河を放流先とする露橋水処理センターは、昭和8年の稼動開始から約70年経過し老朽化が進んだことから、平成15年度から全面改築に着手し、平成30年度に新施設が完成した。

### 2. 事業の概要

露橋水処理センターは、汚水処理施設を全面地下化することで、施設上部に都心部における憩いの空間を形成し、良好な都市景観を創出するとともに、近傍の再開発地区に処理水を送水し、地域冷暖房の熱源等に多目的利用することで、環境に配慮した魅力的なまちづくりに貢献した。

### 3. 事業の成果

改築にあたり、中川運河沿いの倉庫が建ち並ぶ沿岸用地と市道を取得し、処理施設を全面地下化することで、施設上部に約15,000㎡の空間（ナゴヤドームのグラウンドの広さに相当）を生み出した。

処理施設の上部空間を整備するにあたっては、地域の代表者や有識者で構成される「露橋検討委員会」を立ち

上げ、まちづくりなど様々な観点から上部空間利用方法を検討・決定し、整備を行った。

整備した上部空間は、「**広見憩いの杜**」と名付けられ、地域に愛される良好な都市景観を創出している。令和元年度、地域の皆さまの主催で開催された花火大会の観覧場所に使用され、地域の活性化にも貢献している。

また、新たな名古屋の玄関口として大規模再開発が進む「ささしまライブ24地区」に、露橋水処理センターの高度処理水を送水し、多目的に利用することにより、環境に配慮した魅力的なまちづくりに貢献している。具体的には、高度処理水を以下の3つの用途に利用している。

- ①地域冷暖房の熱源に利用することで、一般家庭約610世帯分に相当する電気・ガスなどのエネルギーを削減
- ②熱源利用後に中川運河堀止部に放流することで、閉鎖性の高い堀止部の水循環を促進
- ③せせらぎ施設で修景用水として利用し、魅力スポットとなる親水空間の形成に寄与



せせらぎ施設（名古屋市提供）

### 4. おわりに

露橋水処理センター改築事業の経験を活かし、今後も増加する同様の大規模改築事業において、良好な都市景観の創出や、環境に配慮した魅力的なまちづくりに貢献していきたい。



『広見憩いの杜』と改築後の露橋水処理センター